

社会福祉学における事例研究法

社会福祉研究において研究法の重要性が強調されるようになってからずいぶん時間がたちました。大量のデータを集めてこれを統計的に分析し、事象の関連を解明しようとする量的研究の蓄積があり、他方でインタビューデータをもとに社会福祉の課題を経験した人の語りを聞き取り分析する質的研究の蓄積があります。これら研究手法についてはたくさんのアクセスしやすい書籍が出ているとはいえ、実際に調査を遂行した人に話を聞かなければなかなかつかみきれないところがあります。

今回の第58回となる若手研究者・院生情報交換会は、「社会福祉学における事例研究法」をテーマに開催します。講師は地域福祉の経済活動などを中心に研究されている関西学院大学の柴田学先生です。どんなテーマの方も自分の研究テーマに引きつけて聞いていただければ、たくさんの示唆があるものと考えます。

当日のプログラムは下記の通りです。終了後は、皆さんとの楽しい交流の機会をとということで、付近の会場での懇親会も予定しています。どうかお気軽にご参加下さい。社会福祉学研究のこれからを担う、若手研究者や大学院生の皆さんのご参加を心よりお待ちしております。なおこの講演会は同志社大学社会福祉教育・研究支援センターと共催にて行います。

記

日時 2024年11月23日(土・祝) 13:00~16:00
場所 同志社大学新町キャンパス 臨光館

13:00 関西地域ブロック、情報交換会担当委員よりあいさつ

講演(13:10~15:00)

「社会福祉学と事例研究」 柴田 学(関西学院大学)

15:00~15:50 質疑応答

15:50~16:00 同志社大学社会福祉教育・研究支援センター長あいさつ

17:00~19:00 懇親会(別途申し込み必要、予算6000円程度、大学院生は3000円程度)

〈柴田学先生プロフィール〉

1984年生まれ。博士(社会福祉学)。地域福祉事例を社会的連帯経済という観点から研究されています。

主著として『地域福祉実践としての経済活動~コミュニティワークの新たなアプローチ』関西学院出版会があり、他にも多数の論文を執筆されています。

参加希望者は、懇親会の参加の有無も含めて、下記までメールでお申し込みください。会場予約や資料作成等準備の都合上、11月16日(土)までにご連絡いただけると幸いです。
よろしく申し上げます。

【参加申込み・問い合わせ先】

企画担当：同志社大学 廣野俊輔 E-mail:shirono@mail.doshisha.ac.jp

